

# 会 議 録

## 1 会議名

平成 28 年度 10 回春日区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項について（公開）

(2) 平成 29 年度地域活動支援事業について（公開）

① 審査・採択等にかかる決定事項の再確認について

② 春日区独自のルールへの対応について

③ 日程について

## 3 開催日時

平成 29 年 3 月 22 日（水）午後 6 時 30 分から午後 7 時 40 分まで

## 4 開催場所

上越文化会館 4 階 中会議室

## 5 傍聴人の数

1 人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：今井 孝、太田一巳、大竹明德（副会長）、加藤幸吉、金子隆一  
          渋木 俊（副会長）、田沢 浩、田中幸晴、谷 健一、新野武宣、橋本桂子  
          藤田晴子、星野 剛、吉田幸造（会長）、吉田 実、鷲澤和省（欠席 4 人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長、小林主事

## 8 発言の内容（要旨）

### 【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

### 【吉田会長】

・会議録の確認：田中委員に依頼

「(1) 報告事項について」事務局より報告をお願いします。

**【山田センター長】**

2月1日の協議会において、「(仮称)北本町新保育園の名称」の決定について、現在の状況を教えてほしいとの要望があり、所管する保育課へ確認したので、報告させていただきます。

この件については、12月21日協議会の諮問の席上でも、保育課長から「新しい保育園の名称は、その変更の要否も含め、園児の保護者や地域の皆さんのご意見を踏まえたくて決定したい。その際、名称の確定前には協議会委員の皆さんの意見もお聞きしたい」との説明があったところだ。

今後の予定は、北本町保育園に通園している園児の保護者や既存ならびに新しい保育園周辺の町内会などから意見をお聞きし、市の考え方を整理した上で、春日区と高田区の両地域協議会に報告する予定としているとのことだ。

園の名称の決定時期については、市民周知や看板等の物品類の手配の都合上、遅くとも平成29年12月までに決定する必要がある、保育課ではすでに保護者へのご意見をお聞きし始めており、できるだけ早めに決定できるよう作業をすすめていくとのことであった。

**【吉田会長】**

今の説明に質疑を求める。ただし、今日は担当課が来ていないので、回答は次回以降になることをご承知おきいただきたい。

(発言なし)

次に「① 審査・採択等にかかる決定事項の再確認について」に入る。ここからは支援事業の制度を熟知している大竹副会長から議事を進めてもらうがよいか。

(「はい」の声)

**【大竹副会長】**

では、事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

・資料No.1、参考資料により説明

**【大竹副会長】**

今の説明に質疑を求める。

**【太田委員】**

プレゼンテーションの方法の中で、映像を利用してもよいかとの質問があったが、

どうか。

**【野口係長】**

機材の準備が必要なので、提案書を提出する際に、その旨をお伝えいただければ、大丈夫だ。

**【大竹副会長】**

他に質疑はあるか。

**(発言なし)**

①については以上で終了する。

「②春日区独自のルールへの対応について」に入る。

1つ目は、来年度からプレゼンテーションを行うとした。2つ目は「事業提案の支出の優先順位を提案者から書いていただく」こととした。この2つを共通質問とし「事業提案書の『別紙』」の様式として、この内容でよいか事務局の依頼により確認したいが、よいか。

**【太田委員】**

先ほどのプレゼンテーションで映像を使ってよいかとの話に関連してくるが、プレゼンテーションにかかる1団体の持ち時間は、どの程度なのか。

**【大竹副会長】**

提案団体数が分からないので何とも言えないが、1団体10分程度と想定している。

**【太田委員】**

それはどこかに明記はするのか。

**【野口係長】**

資料No.3の第3回会議のところに「10分×最大20団体」と記載している。提案数がどれだけ出るかは分からないが、プレゼンテーションが5分で、個別質問への口頭回答が5分の合計10分と想定している。提案団体には、時間配分や集合時間等を記載して配布する予定である。

**【加藤委員】**

プレゼンテーションのときに、口頭で質問に回答されるが、当日欠席した委員は質問の回答が分からないので、その辺は事務局でまとめてくれるのか。

**【野口係長】**

概要を一覧にして全委員に配布する。

**【今井委員】**

自分の団体以外のプレゼンテーションについて、その場において見ることはできるのか。

**【野口係長】**

公開の会議なので、傍聴に類したかたちで残っていただくことは可能かと考える。その辺の取り扱いも、今、皆さんから決めていただければよいと思うが、いかがか。

**【大竹副会長】**

他の団体も他の団体のプレゼンテーションを聞くこともやぶさかではないと思うがどうか。

(「よし」の声)

他に意見を求める。

**【吉田委員】**

細かいことだが、説明の際に時間を超過された提案団体がいたので、ベルでお知らせをして、時間超過がないようにお願いしたい。

**【大竹副会長】**

ベルでお知らせするなどして、時間厳守でいくことでよいか。

(「よし」の声)

次に、「質問票の作成と抽出方法について」事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

・資料No.2により説明

**【大竹副会長】**

今の説明に質疑を求める。

**【橋本委員】**

「1 質問票について」と「2 協議会を開催して質問事項の整理を行うことについて」は、資料No.3の「事業採択までの今後の予定」のどの場面に関係してくるのか教えてほしい。

**【野口係長】**

資料No.3に「事業提案書の読込と個別質問の作成」と「個別質問の提出締切」という項目があるが、これが「1 質問票について」にあたる。次に、第2回会議での「課題の共有と個別質問の確定」とあるが、これが「2 協議会を開催して質問事項の整理を行

うことについて」にあたる。

**【橋本委員】**

協議会で質問を協議する場面では、どの質問をどなたが出したか、質問の意図を確認するために名前を公表するということがあった。3つのグループに分けて質問を整理する段階で、自分たちのグループで整理している質問が、他のグループにいる委員が出している場合、その質問意図を確認するために、グループを行き来して確認してよいのか。

**【大竹副会長】**

それを補完するために全体会議を行うので、わざわざグループを行き来しなくて済むということで統一したいがよいか。

**【橋本委員】**

グループで整理できないことは、全体会議まで持ち越しという感じか。分かった。

**【谷委員】**

3つのグループは、どのように分けられるのか。

**【野口係長】**

50音順に分ける予定である。

**【金子委員】**

「全提案事業を3で割って、事業に係る質問を協議をする」ということが、何を言っているのか分からない。例えば、30件の提案があった場合、各グループで10個ずつということか。

**【大竹副会長】**

そうである。

**【鷺澤委員】**

50音順に委員を3つの班に分けるということだが、毎回同じメンバーなので、もう少しバラつかせてグループ構成をしていく必要があるのではないか。また、提案も出てきた順番ではなく、バランスよく内容も検討して分けたらどうか。

**【野口係長】**

班分けの方法については、たたき台としてご提示したが、バランスまでの調整は事務局では難しいので、委員間で協議していただきたい。分野ごとの整理については、1事業に複数のものが含まれていた場合にどの分野として分けるかなどが懸念されるこ

とと、人の考え方によって分野の捉え方、比重が変わってくる問題も出てくるので、提案事業については頭から3で割っていくのが、偏りがなくて良いのかなと思う。ただ、あくまでも事務局の考えなので、皆さんで審議いただきたい。あるいは、どなたか代表でお手伝いいただき分類を決めていただける仕組みを作っていたらと助かる。

**【大竹副会長】**

班分けについては、どのような提案で何件かは分からないので、4月11日の会議の際に、方向性を見いだせればと思うが、どうか。

**【橋本委員】**

事業とグループを分けるのは、それぞれ課題があると思うのだが、グループの部分でいうと、メンバーの中に担当する事業の提案者がいないことが大切かと思う。そこだけ、配慮して班分けしていただければよいと思う。

**【加藤委員】**

グループ分けを考えたかどうかという話があったが、具体的にどのようにしたら本当に良いグループができるのかなという疑問がある。提案に対してグループで質問事項をまとめるのは初めてのことなので、誰がどの事業を担当しようが問題ないと思う。以前グループに分かれて話したが、今回は質問事項の整理であり協議内容が全然違うので、どういうメンバーでやろうが問題ないと思う。

**【大竹副会長】**

今2つの意見が出たが、いかがか。加藤委員の案でいくか、鷲澤委員の案でいくか。

**【吉田委員】**

加藤委員に賛成だ。これから自主的審議で分科会を作って、各々のカラーが出てくれば、グループのカラーで割り振ることもできるが、まだバラバラの状態なので、事務局にお任せした方がよいと思う。事業を仕訳けするとなると、事務局に負担がかかるので、今年は負担にならないかたちで進めばよいのではないか。

**【大竹副会長】**

グループ分けについては、今回は事務局の案でいきたいと思うが、よいか。

**(「よし」の声)**

それでは、資料No.2は終わりにする。

次に「③日程について」事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

・資料No.3により説明

**【大竹副会長】**

今の説明に質疑を求める。

**【今井委員】**

一番時間が掛りそうなのは、第5回会議の「採択事業の決定」だと思う。次に時間が掛りそうなのは、第2回会議のグループ分けをして質問をまとめるところである。これについて、限られた時間の中で審議し切れない可能性があると思う。予備日を設けるなど考えておいた方がよいと思うがどうか。前回の反省で時間を掛けるべきというのがあったが、この時間の中でやるとなると、最後の方は駆け足になってしまう。可能であるならば、予備日を設けたらどうか。

**【野口係長】**

第2回、第5回についても、時間が掛ることを想定して市役所の会議室を押さえてある。基本的には最長でも午後10時までと考えている。審議は、着地点を見据えてやらないと、ダラダラと時間だけが過ぎてしまう懸念がある。ただ、市役所の会議室であるため、時間は午後10時を過ぎても使用はできるので、慎重に審議していただいて結構である。

**【今井委員】**

前回の分科会で協議した時は、意外にスムーズにまとまっていたように見えたので、もしかしたら思ったほどではないのかもしれない。取り越し苦労だとよいと思う。

**【大竹副会長】**

他に質疑を求める。

**(発言なし)**

では、このスケジュール案で進めさせていただく。以上で終わりにする。

地域活動支援事業関係でかなりの時間が必要とされるが、審査・採択が終われば、自主的審議の時間をなるべくたくさん取りたいと思っているので、ご協力をお願いします。

**【加藤委員】**

提案事業がどのくらい出てくるかは分からないが、5月8日に「個別質問票一覧の送付」とある。時間短縮のために、このときにグループ分けと、協議する質問事項の項目を分けて入れてもらえば、事前に各々が質問事項をまとめられるのではないかとと思うので、よろしくをお願いします。

【大竹副会長】

委員が提案団体の提案者の場合、自分の事業によくしようという場合もあるので、その辺はよく精査して考えたいと思う。他にあるか。

(発言なし)

これで、私の進行は終わりにし、会長にお返しする。

【吉田会長】

「その他」だが、先日、春日地区町内会長協議会長から連絡があり、町内会長との情報交換会を29年度も7月から9月までの間で行うということで話をしてあるので、よろしく願います。

【鷺澤委員】

3月11日は「地域活動支援事業事前説明会」があったが、様々な意見があり、気づかされることも多かった。それを踏まえて採点にあたりたい。さて、地域協議会の三役と市議会議員との交流会があったようだが、その内容について報告いただきたい。

【吉田会長】

自主審議については、まず春日山周辺での観光を進めたいという話をした。次に、少子高齢化対策と空き家対策は連動してくるので、どうしようかという話が出たが、具体的な話まではいかなかった。また、学園都市のことは大竹副会長から後ほど願います。概して、地域協議会の話が深く行き届いている議員は少なかった。

【大竹副会長】

少子高齢化によって文部科学省が大学の統廃合を進めている。上越教育大学を残していただくためには、上越教育大学がいかに上越市に必要なのかということで、大学を中心とした学園都市構想を話した。それに絡めて、北陸新幹線を利用すれば富山県や長野県からも日帰り通学ができることを話した。妙高はねうまライン上へ大学近くの駅をどうにかしなければいけないというインフラ政策も話してある。以上である。

【吉田会長】

- ・会議の閉会を宣言
- ・次回の協議会：4月11日（水）午後6時30分から 市役所木田庁舎 401会議室

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-5111（内線 1449、1547）



10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。